



新人職員の声

Voice of New staff



西宮市消防局 新人職員の声



Q. この仕事を選んだ理由は？

私が小学生の頃に、祖父母の家が火事になりました。幸い祖父母の命に別状はなかったものの、家財はほとんど燃えてしまいました。その惨状を目の当たりにし、悲しんでいた祖母の姿を今でもよく覚えています。

この経験から私は火災の恐ろしさを痛感し、同時にそれらの被害を迅速に抑える消防の仕事に憧れを持ち、消防を目指すようになりました。

Q. 今後の目標は？

令和4年度から、私は消防の業務の中の一つである「予防」という業務に携わっています。

予防とは、火災等を未然に防ぎ、また発生した火災等の被害を最小限に抑えるために、消防用設備等を適正に設置させ、防火対象物の管理を適切に行わせる仕事です。

消防用設備の特性や法令等、必要な知識がたくさんありますが、少しでも早く覚えられるように精一杯頑張っていきたいと思っています。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. 西宮市消防局の魅力は？

西宮市消防局は独自の訓練施設や、高度な資器材を保有しています。そのような恵まれた環境下の訓練で、現場で生きる知識や技術を習得することができます。先輩、上司と一緒に訓練を行う機会が多いため、多くを学ぶことができ、日々の成長を実感することができます。

また、消防学校を卒業すれば、新人職員を対象にした訓練があります。より実践的な訓練を行うので、1年目から多くを学ぶことができます。

Q. 消防学校での生活は？

消防学校生活は今までの人生で一番濃い半年だと感じています。兵庫県下の消防本部から同期が集まり、座学や、訓練、体力錬成などを行います。

体力的に厳しい訓練もありますが、全力で行い、乗り越えていくことによって、間違いなく自分自身を大きく成長させることができます。

寮生活では寝食を共にし、楽しい時間も多くあります。辛いことも多くの同期と励まし合い、切磋琢磨していくことで、一生の仲間ができます。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. この仕事を選んだ理由は？

人命救助のプロとして最前線で活躍することができる点に魅力を感じ、その一員として働きたいと思い、消防という仕事を選びました。消防には警防、救助、救急、予防という様々な仕事がありますが、どの分野においても市民の安全を守る事に直結しています。

訓練や事務仕事など覚えることは多く大変ですが、市民の方から感謝の言葉をいただいた際にこの仕事を選んで良かったと改めて実感します。

何か少しでも人の為に役に立ちたいという熱い気持ちを持った方にはぴったりの仕事だと思います。

Q. 消防学校での生活は？

県内各地の消防本部から集まった仲間達とともに半年間様々な訓練、座学に取り組みます。

慣れない寮生活の中で覚える事も非常に多く体力面、精神面で大変でしたが、仲間とお互いに支えあって乗り越えることができました。

消防学校で過ごす半年間は、皆さんが今よりも何倍も社会人、消防人として成長できる良い機会です。成長した皆さんとともに人命救助のプロとして働けることを心から楽しみにしています。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. 消防学校での生活は？

4月からの半年間は、消防学校に入校します。消防学校での共同生活は、これからの消防人生の基礎になります。学校では、覚えることも多く体力的にも精神的にも大変な半年間でしたが、県内の消防本部から集まった多くの仲間達と乗り越えることで何ものにも代え難い思い出と、今後、社会人として必要な積極性を養うことができました。

消防学校生活を糧に今後も社会人、消防人として協調、協力する姿勢を忘れず日々、成長していける良い経験となっています。

Q. 消防士という仕事の魅力は？

24時間勤務のため、災害出動や訓練、事務作業など体力的、精神的に辛いこともあります。様々な業務を通じて「人を助ける」ことができるのが、消防の仕事だと思います。

警防隊や救助隊、救急隊のように直接、人を助ける仕事や、予防業務のように未然に災害を防ぐ仕事もあります。このように、市民の安全な生活を守るために、様々な仕事を行えるのが消防士という仕事の魅力です。

皆さんが消防職員になり同じ目的に向かって切磋琢磨できる日を心待ちにしています。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. 消防学校での生活は？

消防学校は私の人生の中で一番濃く、充実した半年間でした。訓練で体力的、精神的に限界を迎えそうになっても、横で一生懸命頑張る同期の姿や掛け声に何度も救われました。

この半年間、教官・同期にとっても恵まれていたと思います。これからの消防人生で辛いことがあっても、消防学校で乗り越えることができた訓練、一緒に頑張った同期がほかの消防本部で頑張っていると思うと私も頑張らなければならないと思わされます。一生の思い出と、一生大事にしたい同期に出会えた半年間でした。

Q. 今後の目標は？

私は現在、予防係を担当しています。予防係は、建物の消防用設備の検査など様々な業務を通じて、地域の方を火災から守ります。予防担当という大切な業務を任されているので、もっと予防のことに詳しくなり、一人前になれるよう勉強していきます。

消防には様々な仕事があり、一つ一つが地域の方を守ること全てが繋がっていると実感しています。任されている仕事に責任感を持ち、様々なことに積極的に関わっていき、目標をもって一日一日を大切に過ごしていきたいと思いません。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. この仕事を選んだ理由は？

幼いころから、困っている人を見かけると助けたいという気持ちが強くありました。そこで、将来は人の役に立つ仕事をしたと考えるようになりました。小学生の頃からスポーツをしていたこともあり、体を動かすことが好きだったので消防ならそれを生かして直接人を助けることができると思いました。

また、幼いころから消防士といえば強くて、カッコいいというイメージがあったので、自分も頼られる存在になりたいと思い目指しました。

Q. 仕事をしていて「やりがい」を感じる時は？

市内で業務を行っている際に市民の方から「ありがとう」や「ご苦労さん」と声をかけていただいたり、小さな子どもが手を振ってくれた時にやりがいを感じ、もっと頑張ろうと前向きな気持ちになります。

また、救急現場では自分の処置によって苦しんでいる人を少しでも楽にできたり、人の命を救うことができたときは心の底からやりがいを感じます。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. 消防学校での生活は？

私にとって初めての寮生活で、最初は慣れないことが多く、ストレスを感じることがありましたが、少しずつ慣れていき、同期という仲間と共に過ごした寮生活は、とても充実したものとなり、今となっては心強い相談相手になりました。

消防学校での講義や訓練は難しい内容や厳しい訓練もあり、戸惑うことも多くありましたが数を重ねていくにつれ、できることが増え最終的に火災想定訓練や査閲で自分たちが積み重ねてきたものを発揮できた時は、とても達成感を感じました。

不安やストレスもありましたが同期全員で楽しみながら、目の前の事に全力で取り組むことで、充実した消防学校生活を送ることができました。

Q. 今後の目標は？

消防学校を卒業し、実際に消防職員として働き始めて数か月ですが、まだまだ技術や知識が足りておらず、現場でも自分のことで精一杯なのが現状です。これからの研修や訓練でたくさんのことを学び、隊長や他の隊員の考えを汲み取り、視野を広く持ちながら活動できるようになることが目標です。

消防には警防、予防、救急、救助と幅広い分野の業務があります。その中で私は警防に力を入れたいと考えています。訓練などで自分の技術を磨き上げることが大切ですが、警防の業務をしっかりと学び、どんな仕事でも任せられるような職員になることが目標です。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. 消防士という仕事の魅力は？

消防士の1番の魅力はやりがいだと私は思います。

市民の命を守るため訓練に励み、より安全・確実・迅速に活動できるよう試行錯誤する点に、他の仕事では感じることはできないやりがいを感じます。

また、出勤の日は24時間勤務とハードですが、その反面、仕事明けの日は1日体を休め、休日などはプライベートな時間をとることができるので、オンオフの切り替えがしやすく、趣味を楽しむなど気持ちをリフレッシュしやすい仕事だと思います。

Q. 就活生へのメッセージ

私が就職活動をしていた時は周りに頼れる人がおらず、自分なりに悩みながら不安な気持ちで受験対策を進めていた記憶があります。

私が就職活動で1番大切だと思うことは情報収集です。試験の出題傾向や、面接での質問事項などの情報を調べるため、市のホームページや、知人の知り合いにあたるなど色々なところから情報を得ることが合格への近道だと思います、頑張ってください。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. 消防学校での生活は？

早寝早起きの規則正しい生活、毎日の座学や訓練、きつい体力錬成。今までの生活とは一変し、最初は戸惑いました。しかし、ともに入校した最高の仲間たちと過ごすことで、とても充実した忘れられない半年間にすることができました。

また、教官もとても教育生思いで、熱心に指導してくださいました。厳しい時もありましたが、そのおかげで消防士としての基礎を身に付けることができました。

Q. 今後の目標は？

近い将来の目標は、救助隊になることです。そのために日々の訓練から知識・技術を身に付け、体力や筋力の向上にも努めています。

また、いずれは救急救命士の資格を取り、救急隊として活動したいとも考えています。タイミングがよければ、兵庫県の航空隊として活動したいとも思っています。

他にも細かい目標はありますが、全ての目標を達成できるよう精進し、市民の方々に信頼される消防職員になります。

西宮市消防局 新人職員の声



Q. この仕事を選んだ理由は？

私は、小学校から続けていた野球で培った体力を生かせる仕事に就きたいと思い、消防士を志しました。

また、災害現場の最前線で活躍される救助隊の方々の姿に憧れを抱き、いつかは救助隊として消防業務に携わりたいと思い、この仕事を選びました。

Q. 消防学校での生活は？

初任科での6ヶ月間は、とても充実したものでした。自身をとて成長させることができたと感じています。

自分ひとりでは苦しい場面であっても、同期と支え合いながら6か月間を全力でやりきることができました。過酷な訓練も多くありましたが、それを乗り越えたということは、自分の中で大きな自信となっています。